



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 アテクト 上場取引所 東
 コード番号 4241 URL <https://www.atect.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小高 得央
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部次長 (氏名) 菅原 偉夫 (TEL) 0748-20-3400
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,543	6.7	96	△29.5	68	△46.7	62	△34.8
2019年3月期第2四半期	1,446	6.7	137	48.4	128	73.8	95	103.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 32百万円(△68.0%) 2019年3月期第2四半期 102百万円(192.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第2四半期	14	23	14	14
2019年3月期第2四半期	22	03	21	71

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	
2020年3月期第2四半期	5,226		1,637	31.0	
2019年3月期	5,362		1,665	30.3	

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,617百万円 2019年3月期 1,624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	
2020年3月期	—	0.00				
2020年3月期(予想)			—	10.00	10.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,100	4.9	230	9.9	210	8.2	130	2.3	29	68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	4,399,900株	2019年3月期	4,395,900株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	15,616株	2019年3月期	15,595株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	4,381,725株	2019年3月期2Q	4,340,607株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、2019年11月14日に投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

人材不足及び人手不足が経営の最重要課題となる中、現有の経営資源である「ヒト・モノ・カネ」を最大限に活用した新たな事業ポートフォリオを作成し、衛生検査器材・半導体資材の2大コア事業に加え、P I M事業を将来的に高機能部品、自動車部品の2大事業に独立させ、4大事業からなる企業体とするべく、新5ヶ年計画(NP5Y-Challenge50)をスタート致しました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は全セグメントにおいて前年同期比プラスとなり、グループ連結売上高は前年同期比6.7%の増収となりました。売上総利益は上半期単独で過去最高を更新、748百万円(前年同期比8.7%増)の増益となりました。一方、販管費については、次代の中核事業として見据える自動車部品事業の研究開発費、開発用設備の減価償却費、幹部社員の中途採用費等、前年同期比100百万円増となり販管費の増加が売上総利益の増加を上回ったことで、グループ連結営業利益は前年同期比40百万円の減益となりました。

また、営業外費用として主に半導体資材事業における為替差損9百万円を計上致しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,543百万円(前年同期比6.7%増)、営業利益96百万円(前年同期比29.5%減)、経常利益68百万円(前年同期比46.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は62百万円(前年同期比34.8%減)となりました。

セグメントの概況は次の通りであります。

① P I M(パウダー・インジェクション・モールディング)事業

1) 高機能部品

新5ヶ年計画(NP5Y-Challenge50)における高付加価値戦略商品として、前期に受注済の高機能部品11品番に加え、当第2四半期連結累計期間において、高機能部品9件、材料販売3件を新たに獲得致しました。主な内訳は直動型ベアリング5件、FA機器関連部品3件、セラミックス製CMOSセンサー部品等になります。

2) 自動車部品：VG (Variable Geometry) ターボ部品

当社は転位強化技術(1000度の使用環境に耐えうるP I M製品)の確立に成功し、2022年以降に普及が期待される次世代ガソリンターボ(VG方式)部品の商品化に注力する中、現行ディーゼルターボエンジンのノズルベーンを含む数種類の部品の量産化に向けた了解覚書を第1四半期連結累計期間に大手ターボメーカーと締結し、2021年3月期中の量産を目指し、試作イベントに着手しました。現行ディーゼルVGターボ用部品は700度近辺で使用することから、転位強化は不要ですが当社P I M工法における性能・品質・コスト面において総合的に優位であることが認められたと考えております。

好調な高機能部品の拡販活動と前倒しとなった自動車部品の量産化を両立する為、社内体制をより一層、強化して参ります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は59百万円(前年同期比38.0%増)、営業利益16百万円(前年同期比34.4%増)となりました。

② 衛生検査器材事業

新5ヶ年計画(NP5Y-Challenge50)において、コアビジネスであり安定継続事業として位置付ける本事業はここ数年、安定した売上高を堅持しております。2019年3月に「大口顧客獲得」「訪問販売」を目的とした本事業では初となる営業所を東京に開設し、従来の本社テレマーケティング営業に加えフェイスtoフェイスの営業による拡販活動を本格的にスタートさせ、確実に成果が出つつあります。ホームページを利用した新たな営業手法等も奏功し、上半期単独売上高では、過去最高となる800百万円となりました。原価面においても、売上総利益は394百万円(前年同期比9.3%増)と大きく改善致しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は800百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益33百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

③ 半導体資材事業

当第2四半期連結累計期間においても販売数量は前年同期比で17.4%と大きく伸長しました。一方で円高ウォン安の影響により、売上高は前年同期比8.0%増に留まりました。売上総利益については前年同期比17百万円、5.7%増の322百万円と上半期単独では過去最高となりましたが、57百万円の販管費の増加により、営業利益は40百万円の減益となりました。

新5ヶ年計画(NP5Y-Challenge50)達成の上で本事業を安定成長事業として位置付け、今後更なる増産に対応すべく、2019年7月よりスタートした韓国生産拠点初の完全2シフト体制による生産は順調に推移しております。2019年9月の月産数量は2007年に記録したアナログから地デジ切替特需に並ぶ900万mの生産となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は684百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益46百万円(前年同期比46.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ2.5%減の5,226百万円となりました。

これは、「商品及び製品」が42百万円増加する一方、「現金及び預金」が158百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ2.9%減の3,589百万円となりました。

これは、「短期借入金」が30百万円、「リース債務」が60百万円増加する一方、「1年内返済予定の長期借入金」が116百万円、「長期借入金」が132百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1.7%減の1,637百万円となりました。

これは、「為替換算調整勘定」が29百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	452,583	294,160
受取手形及び売掛金	452,291	446,345
商品及び製品	161,844	204,314
仕掛品	21,631	19,087
原材料及び貯蔵品	210,857	221,174
その他	48,614	42,949
貸倒引当金	△1,587	△1,457
流動資産合計	1,346,234	1,226,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,029,969	1,000,419
機械装置及び運搬具（純額）	785,671	750,084
土地	1,531,044	1,531,044
建設仮勘定	306,942	282,311
その他	153,687	231,138
有形固定資産合計	3,807,316	3,794,998
無形固定資産		
その他	83,365	80,662
無形固定資産合計	83,365	80,662
投資その他の資産		
投資有価証券	2,720	3,262
繰延税金資産	92,884	92,152
その他	30,744	29,790
貸倒引当金	△791	△820
投資その他の資産合計	125,558	124,384
固定資産合計	4,016,240	4,000,045
資産合計	5,362,475	5,226,619

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	385,014	364,016
短期借入金	170,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	743,922	627,188
リース債務	9,655	18,243
未払金	64,940	70,839
未払法人税等	18,498	24,964
賞与引当金	52,168	50,566
設備関係支払手形	10,278	34,328
その他	59,460	96,331
流動負債合計	1,513,937	1,486,477
固定負債		
長期借入金	2,170,222	2,037,386
リース債務	-	52,183
繰延税金負債	89	73
退職給付に係る負債	10,077	11,327
その他	2,226	2,119
固定負債合計	2,182,615	2,103,089
負債合計	3,696,553	3,589,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	797,701	799,757
資本剰余金	717,701	719,757
利益剰余金	162,049	180,612
自己株式	△7,722	△7,748
株主資本合計	1,669,730	1,692,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	969	1,346
為替換算調整勘定	△45,921	△75,774
その他の包括利益累計額合計	△44,952	△74,428
新株予約権	41,144	19,100
純資産合計	1,665,922	1,637,052
負債純資産合計	5,362,475	5,226,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	1,446,749	1,543,396
売上原価	757,918	794,525
売上総利益	688,830	748,870
販売費及び一般管理費	551,487	652,047
営業利益	137,342	96,822
営業外収益		
受取利息	25	78
為替差益	380	-
受取賃貸料	159	159
還付金収入	3,873	3
助成金収入	5	600
その他	644	347
営業外収益合計	5,087	1,189
営業外費用		
支払利息	9,451	9,216
減価償却費	561	9,956
為替差損	-	9,008
その他	4,087	1,487
営業外費用合計	14,100	29,668
経常利益	128,329	68,343
特別利益		
固定資産売却益	-	99
新株予約権戻入益	-	19,436
特別利益合計	-	19,536
特別損失		
固定資産除却損	-	1,056
減損損失	3,379	-
特別損失合計	3,379	1,056
税金等調整前四半期純利益	124,949	86,823
法人税等	29,306	24,456
四半期純利益	95,642	62,366
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	95,642	62,366

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	95,642	62,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	376
為替換算調整勘定	7,221	△29,852
その他の包括利益合計	7,270	△29,475
四半期包括利益	102,913	32,890
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102,913	32,890
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。